

高津区市民提案型協働事業評価結果及び対応方針表

団体名	NPO法人子育て支えあいネットワーク満
事業名	たかつdeブックスタート～子どもの心をはぐみ、セーフティーネットを広げる～
所管課	こども支援室
事業概要	保健福祉センターで実施している3か月児健診のお知らせ通知に、地域子育て支援センターに持参すれば0歳児にお薦めの絵本が無料で受け取れる引換え券を同封するとともに、3か月児健診の際に、本事業の説明をする。地域子育て支援センターに絵本の引換えに来た親子に対して、スタッフが絵本の読み聞かせを行いながら、親の気持ちを受け止め、子どもとのかかわり方を伝える。また月に一度、地域子育て支援センターにおいて、利用者を対象とした「ブックスタートおはなし会」を実施する。

項目別評価

評価項目	妥当	要改善	評価項目に対する主な意見
事業内容の妥当性	2人	3人	・地域子育て支援センター利用活性化の方策として、ブックスタートを取り入れた点は新鮮であった。 ・地域子育て支援センターの利用を促すのに、本の配布が適切とは思えない。
事業の目標設定と達成度	2人	3人	・絵本を介在させた地域子育て支援センターとパパ・ママ、パパ・ママと乳児の関係を太くする目標は達成に近づいたと評する。なお、障害児やシングル家庭等の早期発見・早期支援の目標は中長期的なものとするのが適当である。
事業の効率性と費用対効果	2人	3人	・1000件以上の絵本交換と地域子育て支援センター来所件数の増加から両者の因果関係を推認でき、費用対効果が認められる。 ・タウンニュースへの広告料は必要だったか。健診案内が送られるため、対象者には周知されていたはずである。
協働のプロセス	4人	1人	・区としての役割は果たしている。 ・地域で子育てを見守るネットワーク形成の一助となった。
協働による成果	3人	2人	・絵本発注において協働の意味はあった。 ・3ヶ月健診、民生委員・児童委員協議会、図書館などのネットワークがさらに強まり、重層的な支援態勢になった。 ・地域子育て支援センターへの来場者数が伸びた。 ・チラシ配布が3ヶ月健診案内時に効果的に行われた。 ・保護者へのアプローチが広がった面は評価できるが、その後の事業展開への影響が明らかでない。
中長期的な事業の展望	0人	5人	・地域子育て支援センター利用活性化について、区役所でも方策を検討し、当該団体と一緒に試行することが求められる。 ・特定の人たちのみに絵本を配布することに対する不公平感をどう払拭し、納得させるか、本事業の要となる「絵本の配布」をめぐり、双方の意見をどう調整するか。

各委員の評価及び所管課の対応方針

各委員の総括コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・図書カード作成の案内を同封したことはよかった。 ・絵本が乳児育て中の母親に好影響を与えた点において、ブックスタートそれ自体は成果があったと評する。他方、絵本の無償提供が地域子育て支援センターの新たな利用者を振り起こしたと言えるが、地域子育て支援センター利用活性化が目標であるならば、利用を妨げる理由を分析し、絵本の無償提供に依存しない策を講じることを今後の活動に期待したい。 ・ブックスタートという事業を通じて、関係機関の連携強化が図られた点は事業の成果と捉えられるが、双方に「協働」という認識が希薄である。協働の成果・意義が図りにくい事業と考える。 ・3か月健診で地域子育て支援センターの案内がされていると思うが、行きたくなるよう、内容などを記載するなど、チラシを工夫すると良い。また、各地域子育て支援センターで本の貸し出しもできると良い。 ・事業の目的として、①子どもの心を育む、②親の子育てに対する孤立感や負担感の軽減を図る。③支援を要する親子の発見・救済を行うことが挙げられている。これはまさに今必要とされていることである。今回、絵本を配布するという形を導入して、この目的にアプローチした事業だが、この目的にどのよう接近できたのかが報告書に希薄である。この事業を通して、明らかになってきた地域子育て支援センター事業の活性化・有用性の向上という観点から課題を具体的に引き出すことを意図した整理をお願いしたい。 ・本事業は高津区発の新規モデル事業だが、予算の大半を占める絵本の配布ではない別の方法で子育てを見守るネットワーク形成への改善・検討が望まれている。
所管課の対応方針	提案団体はこども支援室、児童家庭課、図書館などと連携を図りながら、絵本の読み聞かせを通じた親子のかかわりの大切さを伝えることができました。この配布をきっかけとして地域子育て支援センター利用者増に一定の効果がありました。また、孤立感、負担感をかかえた親や新たな利用者に向け、地域子育て支援センター紹介の手法の一つとして有効でした。この事業は26年度で終了していますが、これをきっかけに各地域子育て支援センターでは、引き続き図書館と連携しお薦め絵本を紹介したり、定期的に絵本の読み聞かせ会を行うなど事業を続けています。